



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場会社名 ICDAホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 3184 URL http://www.icda.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)向井 弘光
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)黒田 悟郎 (TEL) (059) 381-5540
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	10,911	△3.1	286	90.8	269	73.9	169	87.6
27年3月期第2四半期	11,263	△1.9	150	△57.8	155	△53.0	90	△51.3

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 168百万円 (62.0%) 27年3月期第2四半期 103百万円 (△46.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	80.82	—
27年3月期第2四半期	43.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,634	4,108	27.2
27年3月期	15,263	4,050	25.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,985百万円 27年3月期 3,926百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	50.00	50.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,277	△1.0	823	45.3	760	42.2	496	72.2	236.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	2,100,000株	27年3月期	2,100,000株
② 期末自己株式数	64株	27年3月期	64株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2,099,936株	27年3月期2Q	2,099,969株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、平成27年12月7日に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定であります。なお、当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済施策・金融政策の効果等により、企業収益の改善等が進み景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら個人消費を取り巻く環境は、物価上昇に伴う実質所得の低下による節約志向は根強く、また、海外経済の下振れ等、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

自動車販売業界においては、エコカー減税の見直しと軽自動車の増税等により、販売台数の落ち込みなど、厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、「顧客との対話」の原点に立ち返り、アウトバウンド型(発信型)の自社コールセンターを開設いたしました。また、中古車販売においては、市場特性等の情報収集を徹底し、地域競合店との差別化を進めました。この結果、売上高は109億11百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益は2億86百万円(前年同期比90.8%増)、経常利益は2億69百万円(前年同期比73.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億69百万円(前年同期比87.6%増)となりました。

セグメント毎の状況は以下の通りであります。

① 自動車販売関連事業

当セグメントにおきましては、新車販売では、前期に相次いだ主力車種リコールの影響や軽自動車の増税により、販売台数が減少いたしました。これにより、新車販売台数は前年同期比19.0%減の2,120台となりました。中古車販売においては、地域競合店との差別化を進めることで、中古車販売台数は前年同期比7.0%増の4,387台となりました。これらの結果、売上高は106億8百万円(前年同期比3.0%減)、セグメント利益(営業利益)は3億73百万円(前年同期比58.2%増)となりました。

② 自動車リサイクル事業

当セグメントにおきましては、使用済自動車のオークション市場からの仕入割合が高く、仕入コストが増加いたしました。使用済自動車の入庫が前年同期比1.7%増の3,178台となり、生産台数(再資源化処理)は前年同期比15.5%減の3,337台となりました。また、鉄・アルミ等の素材価格の相場の落ち込みにより、資源売上が減少いたしました。これらの結果、売上高は3億2百万円(前年同期比6.3%減)、セグメント利益(営業利益)は33百万円(前年同期比44.4%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より6億29百万円減少し、146億34百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少8億34百万円、建物及び構築物の減少1億17百万円、商品及び製品の増加1億86百万円、土地の増加1億61百万円等によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末より6億86百万円減少し、105億26百万円となりました。これは主に、買掛金の減少6億29百万円、未払法人税等の減少63百万円等によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より57百万円増加し、41億8百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上1億69百万円、配当金の支払1億4百万円による利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は5億92百万円(前年同期比21.6%減)となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出した資金は3百万円(前年同期比99.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が2億69百万円、減価償却費3億12百万円、たな卸資産の減少額1億23百万円、前受金の増加額1億2百万円等による資金の増加と、仕入債務の減少額6億29百万円、法人税等の支払額1億59百万円等による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は6億90百万円(前年同期比21.0%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出6億93百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は1億40百万円(前年同期は9億43百万円の収入)となりました。これは主に短期借入金の増加額4億円による資金の増加と、長期借入金の返済による支出4億29百万円、配当金の支払額1億4百万円等による資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、概ね計画通り推移していることから、平成27年5月15日公表の連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

企業結合に関する会計基準等の適用

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,507,198	672,875
受取手形及び売掛金	315,432	267,831
商品及び製品	2,412,081	2,598,214
仕掛品	2,329	4,925
原材料及び貯蔵品	34,196	28,608
その他	258,329	260,954
貸倒引当金	△1,043	△958
流動資産合計	4,528,525	3,832,449
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,286,356	3,169,056
土地	5,600,329	5,761,961
その他(純額)	966,825	992,727
有形固定資産合計	9,853,511	9,923,745
無形固定資産	67,543	65,695
投資その他の資産	814,412	812,685
固定資産合計	10,735,467	10,802,125
資産合計	15,263,992	14,634,575

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,999,196	1,369,611
短期借入金	4,125,332	4,534,182
未払法人税等	167,414	103,743
賞与引当金	146,937	147,301
その他	1,156,006	1,160,982
流動負債合計	7,594,887	7,315,821
固定負債		
長期借入金	2,780,366	2,342,375
役員退職慰労引当金	258,448	265,423
退職給付に係る負債	527,255	549,196
その他	52,279	53,454
固定負債合計	3,618,349	3,210,450
負債合計	11,213,237	10,526,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,161,078	1,161,078
資本剰余金	1,148,992	1,148,992
利益剰余金	1,572,796	1,637,521
自己株式	△107	△107
株主資本合計	3,882,759	3,947,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,218	33,142
退職給付に係る調整累計額	5,152	4,897
その他の包括利益累計額合計	43,371	38,040
非支配株主持分	124,624	122,777
純資産合計	4,050,755	4,108,303
負債純資産合計	15,263,992	14,634,575

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	11,263,112	10,911,067
売上原価	9,217,358	8,805,431
売上総利益	2,045,754	2,105,635
販売費及び一般管理費	1,895,373	1,818,753
営業利益	150,380	286,882
営業外収益		
受取賃貸料	6,000	6,500
受取保険金	2,820	8,861
その他	43,585	6,020
営業外収益合計	52,405	21,381
営業外費用		
支払利息	37,171	32,672
その他	10,496	5,884
営業外費用合計	47,667	38,557
経常利益	155,118	269,706
特別利益		
持分変動利益	5,400	—
特別利益合計	5,400	—
税金等調整前四半期純利益	160,518	269,706
法人税、住民税及び事業税	46,970	93,110
法人税等調整額	15,595	3,043
法人税等合計	62,565	96,153
四半期純利益	97,952	173,553
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,461	3,831
親会社株主に帰属する四半期純利益	90,490	169,721

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	97,952	173,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,862	△5,075
退職給付に係る調整額	38	△243
その他の包括利益合計	5,900	△5,318
四半期包括利益	103,853	168,234
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,487	164,391
非支配株主に係る四半期包括利益	7,365	3,843

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	160,518	269,706
減価償却費	311,658	312,725
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,604	363
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,853	6,975
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,170	21,583
受取利息及び受取配当金	△2,727	△2,861
支払利息	37,171	32,672
持分変動損益(△は益)	△5,400	—
売上債権の増減額(△は増加)	13,716	47,601
たな卸資産の増減額(△は増加)	△62,769	123,301
仕入債務の増減額(△は減少)	△595,743	△629,585
前受金の増減額(△は減少)	△3,493	102,970
その他	△228,305	△100,510
小計	△351,746	184,944
利息及び配当金の受取額	2,727	2,861
利息の支払額	△37,613	△32,243
法人税等の支払額	△220,609	△159,008
営業活動によるキャッシュ・フロー	△607,242	△3,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△20,000	△20,000
定期預金の払戻による収入	20,000	20,000
有形固定資産の取得による支出	△905,809	△693,682
投資有価証券の取得による支出	△22,343	△2,487
その他	54,090	6,026
投資活動によるキャッシュ・フロー	△874,063	△690,143
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	800,000	400,000
長期借入れによる収入	650,000	—
長期借入金の返済による支出	△478,010	△429,141
配当金の支払額	△104,741	△104,691
非支配株主からの払込みによる収入	79,125	—
非支配株主への配当金の支払額	△1,552	△5,690
その他	△1,526	△1,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	943,294	△140,735
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△538,010	△834,323
現金及び現金同等物の期首残高	1,294,425	1,427,190
現金及び現金同等物の四半期末残高	756,414	592,866

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,940,366	322,746	11,263,112	—	11,263,112
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12,280	13,044	25,324	△25,324	—
計	10,952,646	335,791	11,288,437	△25,324	11,263,112
セグメント利益	236,321	59,793	296,114	△145,733	150,380

(注) 1. セグメント利益の調整額△145,733千円には、セグメント間取引消去1,785千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△147,519千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 2
	自動車販売 関連事業	自動車 リサイクル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,608,605	302,461	10,911,067	—	10,911,067
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,406	15,051	31,457	△31,457	—
計	10,625,011	317,512	10,942,524	△31,457	10,911,067
セグメント利益	373,796	33,221	407,018	△120,136	286,882

(注) 1. セグメント利益の調整額△120,136千円には、セグメント間取引消去△1,500千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118,635千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない純粋持株会社である当社の子会社統括事業に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。